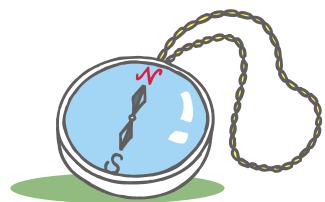


羅針盤



第 4 号

令和7年4月28日(月)

◆ 「挑戦する」

今年度の入学式で、新入生の皆さんにお話した充実した学校生活を送るために大切にしてほしいことの三つ目は、「挑戦する」ということでした。何か新しいことに「挑戦」をすれば、必ずそこには「困難」という大きな壁といったものが立ちはだかります。それでも挑戦し続けなければ、新たな道を切り拓いていくようなことは、きっと誰にもできないでしょう。失敗を恐れることなく、チャレンジし続けて、自分自身の最善を尽くすことに全力を注ぐことに大きな意味があると考えます。たとえ失敗をしたとしても、その失敗から多くのことを学び取れるはずです。そのことが、人としての成長につながっていくものだと思います。大切なのは、失敗をしないことではなくて、失敗を恐れることなく何度もチャレンジすることにあるはずです。挑戦することには勇気も必要となります。成功という結果を得ることができれば、人として成長するだけでなく、自信を深めることにもつながります。また、失敗という結果であったとしても、「自分が納得のいくように挑戦したのだから」と自分自身の行動を肯定的にとらえることができるはずです。挑戦することで、自己の肯定感が高まり、また、新たなる学びの場を得ることができるはずです。達成することが難しい目標であれば、それを達成するための忍耐力や精神力といったものも培われ、たゆまぬ努力をし続ける姿勢も育っていくのではないでしょうか。あるいは、今までには経験をしたことのないような世界に足を踏み入れることができたり、新しい価値観を得ることで新たなアイデアを生み出すような力がついたり、苦しいことから簡単に逃げ出すようなことがなくなったりもすると思います。自分の強みや弱みといったものが客観視できるようになるはずです。問題を解決するための知恵と工夫、そして、大きくていえば「人間力」といったものまで、「挑戦する」という強い思いの中でこそ構築していくものと考えます。何事にも積極的に挑戦することで、ポジティブな考え方が養われ、他者の失敗にも寛容になれることで、人としての成長がより高まっていくものであると思います。



◆ 「礼を正す」

校訓にも示されている「礼を正す」とは、どういうことを意味しているのでしょうか。「礼を正す」、これは、「挨拶をする」あるいは「返事をする」ということです。「挨拶」という言葉には、「心を開いて、相手に迫る」という意味があります。「挨拶」をすることで、良好な人間関係が保たれていきます。そして、その「挨拶」は、率先して他の人よりも先に行なうことが大事なことであると思います。相手に聞こえるような大きな声で、さらには相手が気持ちよく受け取ってくれる挨拶こそが、相手の気持ちを思いやる「礼節」といったことへつながっていくはずです。人は一人では生きてはいけません。誰もが誰かに支えられ、そして、誰もが誰かを支えていることに気づいてほしいと思います。相手を思いやる気持ちや、相手を敬う気持ちを大切にしながら、「感謝」の気持ちを忘れずに、日々の充実した学校生活を過ごしてもらいたいものです。

